

地域資源200%活用事業～6次産業化でまちの元気を創出

概要

当市は、1次産業が盛んな土地柄であり、海、山、里の豊富な食材(地域資源)に恵まれているが、そうした資源が十分に活用されずに埋もれ、流出している。この現状を打破するため、地域内における農業や水産業、商工、観光との協働、融合を進め地域資源の活用を通じた“6次産業化”により地域経済の活性化を図る。

事業の内容



事業の内容

- 6次産品開発・改良事業(ゆず料理・スイーツコンテスト、お土産菓子開発、新商品の開発、既存商品の改良などの取組)
- 宇佐ブランド確立事業(市内産の原材料にこだわった商品を紹介するウサノチカラパンフレット作成、6次産業シンポジウム、直売所の6次産品コーナーの設置などの取組)
- まちなみ散策型基盤整備事業(電動アシスト自転車によるレンタルサイクル導入、長洲まちなみ散策などの取組)
- ツーリズム体験メニュー充実事業(グリーンツーリズムとの連携によりブルーツーリズムを充実させる取組)
- 観光物産プロモーション事業(6次産品フェア、ツアー誘致PR、浜の市における旬の水産資源の直売などにより食材、観光などの地域資源をPRする取組)

総事業費

10.4百万円

ポイント

○農業や水産業、商工、観光および、民間事業者と自治体の協働による総合的な地域の活性化

事業の成果

- 生産者を中心とした商品開発チーム等を設置し加工品開発やそれに付随する販促PR活動を行うことにより、生産者や加工者、流通業者が協働で取組むモデルケースが構築された。また農林水産省の6次産業化事業計画の認定事業者がでるなど6次産業化への気運が醸成された。
- 6次産品の高付加価値化を図るため「ウサノチカラ」ブランドとしてカタログ作成、「長洲浜の市」での6次産品の販売促進やまちなみ散策、着地型観光の推進を担う「ブルーツーリズム」の充実、レンタルサイクルによる2次交通網の整備などを総合的に行うことにより地域活性化につながる観光客の誘致、観光と6次産業の融合を図ることができた。

大分県宇佐市

